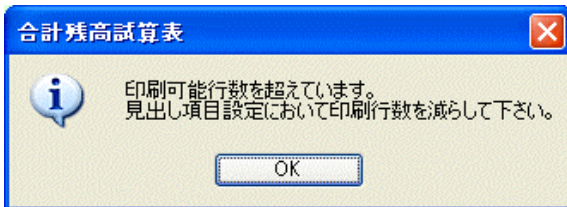


合計残高試算表で要約印刷する際のメッセージ

< 勘定奉行シリーズ全般 >

現象

合計残高試算表で、要約印刷を行おうとしたところ、以下のメッセージが表示された。



理由と対処方法

合計残高試算表の要約印刷では、印刷した際に、貸借対照表で1ページ、損益計算書と製造原価報告書で1ページに納まるように、1ページ当たりの最大行数が「66行」と固定になっています。

対処方法としては、①[見出し項目設定]メニューの[印刷行数 参照]で、「合計」が「1ページ当たり最大行数(66行)」を超えている帳票を確認し、②印刷行数を減らし、合計行数を66行以内にします。

具体的な操作手順

- ① [日常処理1]-[合計残高試算表]-[見出し項目設定]メニューを開きます。
[印刷行数 参照]で、「合計」が「66行」を超えている帳票を確認します。

印刷行数	参照
《貸借対照表》	
資産 54	負債 30
	資本 8
	内訳 18
固定行数 12	11
合計 66	67
《損益計算書》	
経常損益 56	特別損益 10
	未処分等 5
固定行数 9	7
合計 65	22
1頁当たり	最大行数 66

- ② 今回の例では、貸借対照表の「負債」「資本」「内訳」の合計行が、67行になっており、66行を超えています。よって、「負債」あるいは「資本」の計科目のうち、印刷行数に余裕のある(※)計科目から1行分減らします。

(※) 余裕があるとは、要約科目数より印刷行数が大きいことを指します。

今回の例では、「固定負債計」の印刷行数が8行で、要約科目数が6科目と、2行余裕があります。

- ③ 今回の例では、「固定負債計」の印刷行数が8行で、要約科目数が6科目と、2行余裕があります。よって、「固定負債計」の印刷行数を7行とし、1行減らします。

- ① マウスで、固定負債計をダブルクリックします。
- ② 印刷行数に「7」と入力し、 キーを押します。
- ③ <OK> ボタンを押して登録します。

以上で終了です。合計残高試算表の要約印刷を行い、現象が回避されていることを確認してください。

参考

- ◆ 印刷行数を減らせる計科目が無い場合には、科目の要約をする必要があります。科目の要約については、文書番号[638]「要約設定(合計残高試算表)」は、どのように行うのか?」を参照してください。
- ◆ 「印刷行数」と「要約科目数」の関係については、文書番号[1293]「合計残高試算表における印刷行数と要約科目数の関係について」を参照してください。